



〈学校教育目標〉
自分とふるさとに誇りをもち、
未来を生き抜く“チカラ”の育成

上関町立上関中学校
学校だより No.11
令和7年11月17日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>

一人ひとりの思いが響き合うかみのせき學苑祭

11月3日（月）「かみのせき學苑祭」を開催しました。アイランドフェアと共催で行う一大イベントです。祝島小、上関小、上関中3校あわせて約80名で「The Step of the Future～今しかない青春～」をテーマに日頃の学習や文化的な活動の成果を発表しました。

朝早くから、保護者の皆様、議長さんをはじめとした多くの地域の方にお越しいただき、子どもたちの発表を熱心にご覧いただき、温かい声援を送っていただきました。子どもたちは多少緊張しながらも、これまで取り組んできた成果を堂々と発表しました、主な内容ごとに子どもたちの様子を振り返ります。

【オープニング・モニュメント発表】

（上関小4～6年生、実行委員、展示係）

學苑祭のスタートは、上関小4年生～6年生による水軍太鼓の演奏です。水軍祭をはじめ、いろいろな場面で披露されているものですが、ホールの中で聴くとより一層、勇壮なものに感じられました。



続いて、中学生の実行委員によるオープニングです。実行委員長のあいさつやこれまでの取組、テーマを動画にしたものを放映し、學苑祭への気持ちを高めました。

そして、モニュメントの発表です。今年度の學苑祭を象徴するモニュメントは、祝島小、上関小、上関中の児童・生徒が保護者や地域の方の力もお借りして作りあげたモザイク壁画です。原画はテーマである「The Step of the Future～今しかない青春～」を3年生の河本真瑞さんが表現したもので、周りには小中学生の青春の一コマをセピア色に加工した写真を貼っています。學苑祭の後は小学校のホールに展示します。



【祝島小の学習発表】（祝島小5年生）

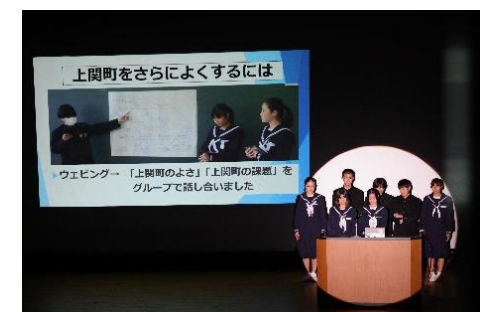
祝島小の5年生は「地域とともにある祝島小」の紹介を映像作品で行いました。祝島小の地域の方や自然を生かした学習活動の様子がニュース番組風に作られており、興味をひくものでした。

【総合的な学習の時間の発表】（上関中1～3年生）

中学生は、総合的な学習の時間で学習した内容をプレゼンテーションソフトを用いて発表しました。



1年生は「かみのせき再発見プロジェクト」として、5月に朝鮮通信使船が室津港に寄港したことをきっかけに行った学習について発表しました。おもてなし料理を紙粘土を用いて再現したり、日本語に加え、英語でのパンフレットを作成したりした取組を紹介しました。



2年生は、「かみのせき開発プロジェクト」として、12月6日の「上関町車海老祭り」の開催に向けての取組を発表しました。祭りにこめた思い、祭りの内容、グッズ開発、関係者との会議の様子について紹介しました。

3年生は、「かみのせき活性化プロジェクト」として、安心・安全なまちづくりについての提案を発表しました。避難所設営体験の様子や非常食のアレンジレシピを紹介したり、12月9日に室津地区を対象に企画している避難訓練について提案したりしました。

【踊堂・相互各保育園、のんのちゃんステージ】

町内の2つの保育園のステージを小中学生も鑑賞しました。多くの児童・生徒が在籍していた園の後輩の子どもたちの元気いっばいの演技を微笑ましく応援する素敵な姿がみられるひと時でした。この日のために一生懸命練習してきた園児の姿に刺激を受けたと思います。

【詩の群読・エビダンス】（祝島小・上関小1～3年生）

最初に宮沢賢治などの有名な詩を学年ごとに群読しました。難しい表現もある詩を一人ひとりが分担して大きな声で暗唱する姿はとても素晴らしいものでした。続いて「エビダンス」の発表です。先ほどの凛とした姿から変わってはじけるような元気いっばいのダンスでした。

【演劇】（中学生代表）

架空の中学校の生徒会役員が小学生に向けて行う桃太郎の劇の内容を巡って話し合いを行う様子表現するものです。途中、何度か登場する桃太郎、犬、猿、きじ役の4人にはセリフがなく、身振り、手ぶりて表現するなど一人ひとりが持ち味を発揮した演技で見るものを惹きつけました。

【學苑祭合唱】（全小中学生）

まずはじめに祝島小、上関小児童全員で「手のひらを太陽に」を歌いました。船の関係でリハーサルが中止になり、各小学校で練習したものを本番ではじめて合わせることにになりました。一人ひとりが大きな口を開けて元気よく歌うことができました。次は中学校の全校生徒です。「道を歩けば」をソプラノ、アルト、テノールに分かれて合唱しました。1年生から3年生がそれぞれ同じパートで歌うため、音程を取るのに苦労しましたが、本番では美しいハーモニーを奏でることができました。最後は、小中合同の合唱です。小中の児童・生徒が全員集まればかなりの人数になります。全員が心を一つにして歌う。美しく、微笑ましく、勇気と元気を与えてくれるそんな合唱でした。まさにかみのせき學苑祭にふさわしい一幕でした。

【エンディング】（実行委員）

學苑祭を終えるにあたり、実行委員が作成したこれまでの準備の様子を写真で振り返る映像が上映されました。そして、この學苑祭を企画、運営した実行委員の思いが語られ、幕が閉じられました。

一人ひとりが自分の思いを表現し、それが響きあう素晴らしい學苑祭になりました。さらに絆が深まった児童・生徒でこれからも一人ひとりが輝ける學苑をつくってほしいと思います。

學苑祭の中には、それを支える生徒の素晴らしい動きがありました。3年生を中心に、展示の準備や後片付け、合唱台の準備や後片付けなど、素早く、気持ちよく楽しそうに働く姿が印象的でした。全体の片付けが終わった後も地域の方の展示の片付けを自主的に手伝う3年生がいたことを後から聞き、終わった後も素晴らしさを感じる一日でした。

